

AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学学術情報センターだより 第30号 Jun 2009

CONTENTS:

- ♪ 巻頭エッセイ - 太田齋先生
- ♪ 図書館リニューアル完成
 - 1. 増築棟の完成 -閲覧席の増設-
 - 2. 視聴覚ブースの利用開始
- ♪ 土曜日開館時間の延長
- ♪ 書庫出納受付停止時間の廃止
- ♪ ゼミ対象図書館ガイダンス
- ♪ ロビー資料展示
「黒人系雑誌で報じられた公民権運動」
- ♪ 図書館ウェブサイトのリニューアル
- ♪ 学生のメールがウェブメールになりました。
- ♪ 新規導入オンラインデータベース3件について
 - 1. 日経テレコン 21
 - 2. Gale Virtual Reference Library
 - 3. JSTOR
- ♪ 市民利用制度の利用状況
- ♪ 2008年度に貸出の多かった図書資料
- ♪ 2008年度統計
- ♪ 図書館日誌(活動記録)
- ♪ 編集後記

♪巻頭エッセイ - 太田齋先生

犬も歩けば

中国学科教授 太田 齋

私は古本屋巡りが趣味であるが、段々と体力が落ち、気力も減退して、雑然とした店内の未整理本の山をほじくり回すというようなことは今ではほとんどなくなってしまった。若い頃は懐具合は良くなかったが、時間と体力

はあったから、必死になって自分にとっての掘り出し物を探したものである。古本屋の方も本が売れなくなって、どんどん潰れ、小ざれいな構えの店ばかりになって、「掘り出す」作業をする場そのものが無くなってしまったという

こともあるが、いつしかそんな泥臭い探求のやり方がカタログで注文するようになってしまう、今ではネットで注文することも少なくない。

このようなネットを通じた漁書の方法は労力を省くことができる分、「無駄」が無い。お金さえあれば、誰でも同じものを入手できる。ピンポイント式の購入は本そのものとの印象的な出会いも古書店の店主との個人的な触れ合いの機会も無い。店頭での古書漁りの場合は、神田神保町のような分野別に専門店が揃っているようなところなら、特定のこの一冊と狙いを定めた買い物が可能であるが、そうでない場合は漠然と自分の専門分野で何か面白いものはないかと、結果を考えずに店内を眺めまわす。自分の経験で言えば、この繰り返しで専攻分野の文献に関する知識を蓄えたようなものである。時には店主との雑談で、貴重な知識を得ることもある。古書店の主は学者ではないが、自分の得意分野に関する書誌学的知識は豊富で、自分の知らなかった異本の存在について教えてもらうこともあった。だから一日かけて数店回って、欲しい本は結局何も無かったという結果になっても、本の背を眺め回すだけでも楽しく、これまで徒労と思うことはなかった。店主の方としてはさんざん店内を掻き回して何も買わない客は不愉快であろうが。

文献収集に関し、興味の無い人にとってはこのような独白は面白いものではないかも知れない。だが偉そうな物

言いになるのが我ながら厭味だとは思いますが、これは一種の比喩でもある。幼児にとって、飛行機のプラモデルより積み木の方がより豊かな想像力を生む。我々の「知」の収集、形成のあり方はこのような原始的なやり方こそが健全なのではないだろうか？今必要な知識をピンポイントで入手することは当面の課題に対応するという目的に絞れば、まことに手っ取り早く、効率的であるが、それでは応用が利きにくい。真に創造的な仕事、パラダイムの転換は常人の思いもよらぬところからヒントを得ることがあるが、刹那的な情報吸収ではそれは到底不可能である。例えば近代言語学の祖ソシュールは社会学の理論に触発されたそうではないか。レヴィ・ストロースの人類学もそうだったっけ？言語地理学の始祖ジリエロンは地質学から着想を得た（お父さんが地質学者だったらしいが）。もちろん、このような常人の意表を衝くような一見無縁の事柄との総合は、正に「コロンブスの卵」で、後から知れば、「何だ、そんなことか」と思われがちだが、それを初めて行うことは決して容易なことではない。特にその完成は天才のみ可能なことなのかも知れない。ただ、楽天的な見方をすれば、我々凡人にもひよっとしたら着想の初歩の初歩くらいなら可能かも知れないという気もする。

雑然とした知識を吸収することは、自分なりにそれを体系化する必要がある。つまり個々の「知識」は普通は、その社

会の一定の価値観という手垢が付いた形で我々に提示されるものだが、我々はそれを吸収した後に、自分の価値観に合わせて再解釈するのである（「蟹は自分の甲羅に合わせて穴を掘る」）。そうしてこそ自前の知識となる。我々はこの苦勞を惜しむべきではない。ピンポイントの知識吸収はこの点でも楽であるが、そればかりだと知識を咀嚼する力を失って、自立した思考もできなくなってしまうのではないか？これは読書とネットによる情報収集の関係についても言える。という訳

で、インターネット時代に落ちこぼれた、時代の波に淘汰されつつあるオジサンの恨み事と取られかねないが、「本をたくさん読もうよ、君たち！」濫読で、君だけの「知」を作り上げよう。「知」を磨き上げることは、自分をより良く見せるに当たって、ファッションのように即効性はないが、記憶力に問題がなければ蓄積が可能だ。そして最後にダメ押しの如くお定まりの結語を。「知識を弄ぶ鼻持ちならぬスノップは御免だが、健全な肉体には知的魅力も必要だよ！」

（おおた いつく）



♪図書館リニューアル完成

1. 増築棟の完成 ー閲覧席の増設ー

昨年度からすすめていた閲覧室の増築工事が完成しました。既設棟の東側に 2 階建の閲覧室（第 2 閲覧室）を増築し、閲覧席が約 120 席増えて 290 席となりました。2009 年 4 月 6 日（日）神戸市長はじめご寄付いただいた楠ヶ丘会、伸興会の代表の方々にお披露目の後、4 月 7 日（火）より利用を開始しました。

第 2 閲覧室は土曜日、休業期は閉室、また 2 階部分は 17:00 までの利用となっています。新しい閲覧席をさっそく学生が利用しています。

2. 視聴覚ブースの利用開始

共同研究棟にあった視聴覚ライブラリーが、図書館リニューアル工事にともない図書館に移設されました。

リニューアルの概要は、下表の通りです。

視聴覚ブースのリニューアル概要

	従来	2009 年 4 月～
AV ブ ー ス 席	14 席	18 席 (+4 席)
	一度に 16 人 まで	一度に 42 人まで (+26 人)
	1 人掛け x12 2 人掛け x2	1-2 人掛け x16 5 人掛け x2
外国語 放送	4 ブースのみ 視聴可能	全ブースで 視聴可能
その他	1 ブースで 視聴できるの は 2 人まで。	5 人掛けブース を 2 席新設した。 1 ブースで 5 人ま で視聴できる。

18 のブースで DVD、LD などの映像資料、CD などの音声資料約 6300 種、外国語衛星放送が視聴可能になりました。図書館開館中はいつでも利用できます。土曜日

の利用も可能になり、利用は増加傾向にあります。

視聴覚ブースの 4、5 月の利用状況は以下のようになっています。

(単位 人)

月		4 月	5 月
利 資 用 人 形 態 別 数	DVD	307	493
	LD	40	47
	ビデオ	47	44
	CD	4	0
	他	43	19
持込		28	19
計(1 日平均)		469 (20)	634 (38)

♪土曜日開館時間の延長

2009 年 4 月 11 日（土）より、授業期間中の土曜日の開館時間が午後 6 時までに延長されました。

♪書庫出納受付停止時間の廃止

2009 年 4 月 7 日（火）より開館時の書庫出納受付停止時間を廃止し、いつでも書庫資料の申し込みができるようになりました。

♪ゼミ対象図書館ガイダンス

図書館では学習・教育支援の一環としてゼミ対象の図書館ガイダンスを実施しています。図書館の活用法および文献検索の基本をゼミのテーマに合わせて図書館職員が説明します。実施時期・時間帯は問いません。お申し込みお待ちしております。

Aコース (約 90 分)	(1)図書館見学(閲覧室 および書庫 1~3 階) 館内を回りながらゼミ に関連した資料等を紹介 します。学部生が入れない 書庫も案内し、当館所蔵資 料の全貌をお見せします。
	(2)文献検索講習 基本的な文献の探し方 を説明します。 ・ 図書の探し方 (特定のテーマに関する 図書の探し方等) ・ 雑誌論文の入手方法 (CiNii 等の使い方、 雑誌目録の見方) ・ 卒業論文の探し方 (ゼミ ごとの卒論の探し方) ・ 外大にない資料の入手 方法(Webcat の使い方、 ILL の紹介)
	Bコース (約 30 分)
Cコース (約 60 分)	上記の(2)文献検索講習の み実施します。

♪資料展示「黒人系雑誌で報じら れた公民権運動」について

4 月からロビーにて当館所蔵資料の展
示を行っています。今回は当館で所蔵し
ている黒人系雑誌からキング牧師関連記
事を探り上げ、公民権運動の歩みを振り
返っています。

詳細は下記の通りです。どうぞご覧く
ださい。

期間	2009 年 4 月 22 日(水) ～2009 年 9 月 25 日(金)
テーマ	黒人系雑誌で報じられた公民 権運動 キング牧師の足跡
展示資料	The Crisis / Ebony ほか

* 図書館ウェブサイトから
展示解説 (PDF) をご覧いただけます。

♪図書館ウェブサイトのリニューアル

外大ウェブサイトのリニューアルと同
時に図書館サイトも新しくなりました。
デザインの一新と同時に、図書館から
のお知らせや司書のおすすめの RSS 配信が
始まりました。どうぞご利用ください。

♪学生のメールがウェブメール になりました

2009 年 5 月 25 日 (月) より、学生の
メールサービスが新しくなりました。

学外でも大学のメールを送受信でき
るようにウェブメールを導入しました。こ
れは Google が提供する Gmail を利用して
大学ドメイン名 (ug.kobe-cufs.ac.jp)
でメールを送信・受信できるものです。

このため、学生全員のパスワードが
変わりました。新しいパスワードの受け取
りは共同研究棟 2 階の学生コンピュータ
室まで学生証を持ってお越し下さい。

また、パスワードの変更は、パスワ
ード変更 Web サイトに直接アクセスして変
更できます。

♪新規導入オンラインデータ ベース 3 件について

図書館内のデータベース用端末 2 台と
学内 LAN に接続する PC 端末から利用が可
能です。

1. 日経テレコン 21 (日経限定メニュー版)

日経 4 紙記事をはじめとする、日本経
済新聞社提供の新聞記事、企業情報、人
事情報などのコンテンツを利用できるデ
ータベースです。

当日の日経新聞の記事が朝刊で 6 時頃
夕刊では 15 時頃に検索できるようにな
ります。分野ごとにリストアップされた

記事見出しをブラウジングできる「ニュース」や「きょうの新聞」といったメニューもあり、経済や国際関係で今何が重要トピックなのかチェックできます。レポートや論文の切り口探しや、参考文献収集にお役立てください。

企業情報は「日経会社プロフィール」から検索することができます。対象は上場企業と有力企業約3万社と限定されますが、就職活動中の皆様のお役に立つことと思いますので、どんどんご活用ください。キャリアサポートセンターでもご利用いただけます。

2. Gale Virtual Reference Library

外大図書館としては初めて電子ブックのデータベースを導入しました。略してGVRLはネット上に仮想の本棚を設置し、電子ブックを購入して搭載する仕組みです。

現在搭載されている電子ブックは以下の2タイトルです。

言語と教育百科事典 第2版 = *Encyclopedia of Language and Education 2nd Edition* (Springer Verlag, 2007)

エリザベス朝時代事典 = *Elizabethan World Reference Library (U. X. L, 2007)*

搭載タイトルを横断検索することも、1タイトル限定で検索することも可能です。

2タイトルのみの搭載では使いでのあるデータベースとは言いがたいのが現状ですが、徐々にタイトル数を増やして行く予定です。ご期待ください。

3. JSTOR

洋雑誌のバックナンバーを初号から集めたフルテキスト・データベースです。何種類かの総合コレクションと分野別コレクションがありますが、本学では以下のコレクションを導入しました。

Arts & Sciences I (総合コレクション、119タイトル収録)

Language & Literature (分野別コレクション、58タイトル収録)

タイトルごとに、何年前の巻号まで利用可能か(JSTORでは“Moving Wall”と呼んでいます)が異なります。例えば“*The Modern Language Journal*”, “*Nineteenth Century Literature*”, “*Review of Economic Studies*”, “*International Organization*”などは3年前の巻号まで収録されています。詳しくは“*Available Collections*”のページ(下記URL)から各アーカイブのTitle listをご覧ください。

(<http://www.jstor.org/page/info/about/archives/collections.jsp>)

♪市民利用制度の利用状況

2007年12月よりスタートした市民利用制度ですが、2008年度の利用状況がまとまりました。

市民利用制度・2008年度の利用状況

	月	開館 日数	入館 者数	登録 者数	貸出 冊数
08 年	4月	7	45	10	60
	5月	5	64	10	90
	6月	4	53	8	70
	7月	4	83	11	66
	8月	14	222	19	64
	9月	17	155	10	108
	10月	4	56	6	82
	11月	4	80	10	121
	12月	11	85	9	132
09 年	1月	3	69	3	135
	2月	18	116	13	138
	3月	15	90	13	117
計		106	1,118	122	1,183

106日の開館で1日平均約11人の入館者、1人平均して約10冊の貸出がありました。制度開始以来毎月コンスタントに10人程度の新規登録が続いています。2年目にはいり、継続してご利用になる方もみられ、制度として定着してきた感があります。

♪2008年度に貸出の多かった図書資料



図書館貸出回数・上位10冊(2008年度)

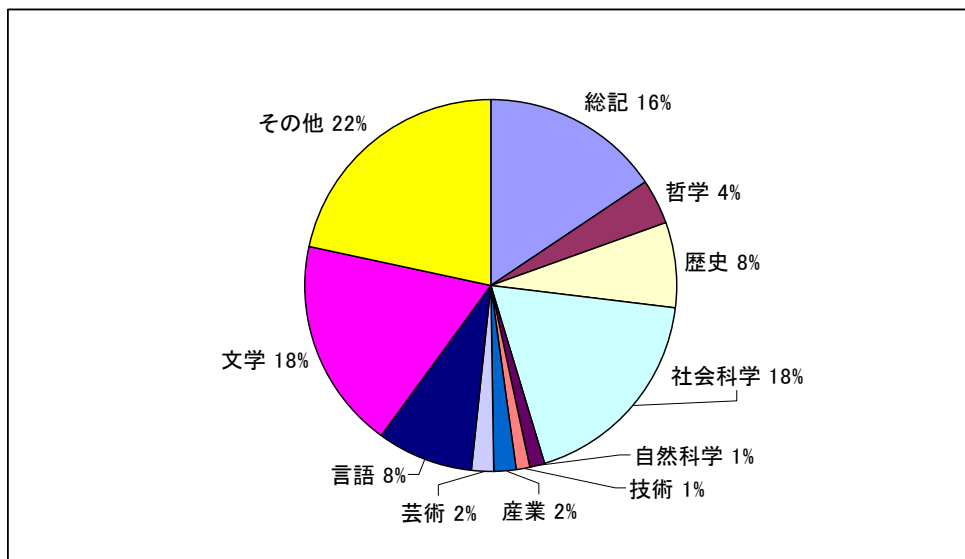
順位	タイトル等	請求記号
1	英語の前置詞 / 小西友七著. -- 大修館書店, 1976.	N835.64-9
	語りのレトリック / 山口治彦著(ニュー・レトリック叢書). -- 海鳴社, 1998.	N801.6-72
	子供は言語をどう獲得するのか / スーザン・H. フォスター=コーエン著 ; 今井邦彦訳. -- 岩波書店, 2001.	N801.04-262
4	図説イギリスの歴史 / 指昭博著(ふくろうの本). -- 河出書房新社, 2002.	N233-58
	英文法解説 / 江川泰一郎著. -- 改訂三版. -- 金子書房, 1991.	N835-256
	New horizon : English course ; 1 / 笠島準一 [ほか] 著. -- 東京書籍, 2006.	N375.9-43-1
7	ラッシュライフ / 伊坂幸太郎著(新潮文庫). -- 新潮社, 2005.	新潮文庫
8	英語発音カドリル : 4週間でネイティブの耳と舌! / 松浪晋也著. -- 池田書店, 2006.	N831.1-160
	ルポ貧困大国アメリカ / 堤未果著(岩波新書 ; 新赤版1112). -- 岩波書店, 2008.	N080-25-1112
	陰日向に咲く / 劇団ひとり著. -- 幻冬舎, 2006.	N913.6-434
	チルドレン / 伊坂幸太郎 [著](講談社文庫). -- 講談社, 2007.	N913.6-472

2008 年度統計

図書館	蔵書総数		394,403 冊	
	入館者総数		127,219 人	
	貸出総数		42,341 点	
	他図書館 と の相互協力	図書貸借 ①	借受冊数	344 冊
			貸出冊数	485 冊
		図書貸借 ②	借受冊数	328 冊
			貸出冊数	1,063 冊
文献複写		依頼件数	568 件	
		受付件数	653 件	
視聴覚ライブラリー	所蔵総数		6,386 種	
	利用者総数		6,204 人	

①…他大学図書館との貸借 ②…神戸市立図書館との貸借

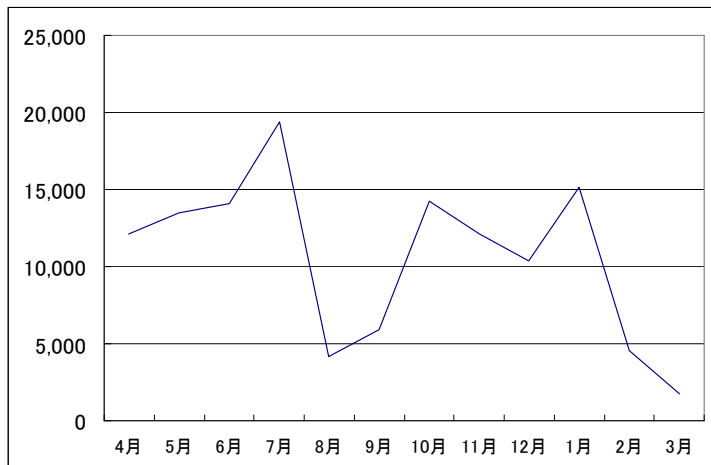
図書館 主題別蔵書冊数



(単位: 冊)

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	総計
和書	39,790	11,743	18,196	50,134	4,563	3,376	5,153	4,524	14,773	30,528	32,288	215,068
洋書	21,722	3,201	11,599	22,112	1,150	1,052	2,444	2,826	18,608	41,564	53,057	179,335
計	61,512	14,944	29,795	72,246	5,713	4,428	7,597	7,350	33,381	72,092	85,345	394,403

図書館 月別入館者数

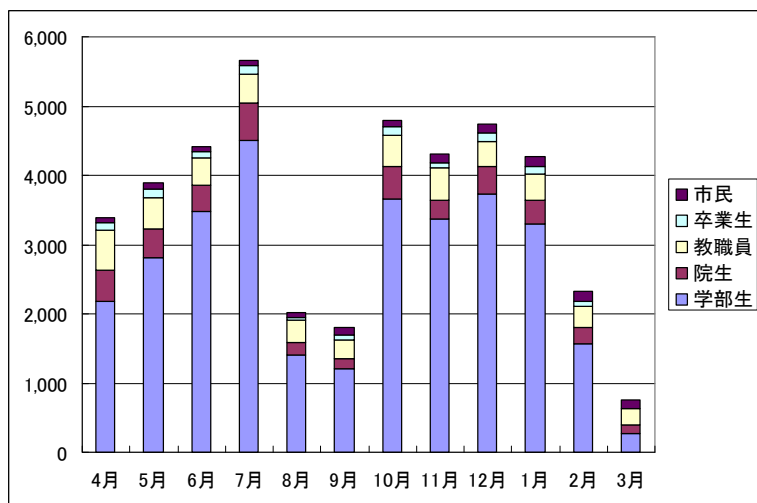


(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
12,104	13,466	14,101	19,358	4,133	5,905	14,229	12,110	10,406	15,155	4,510	1,742	127,219

図書館 月別貸出冊数

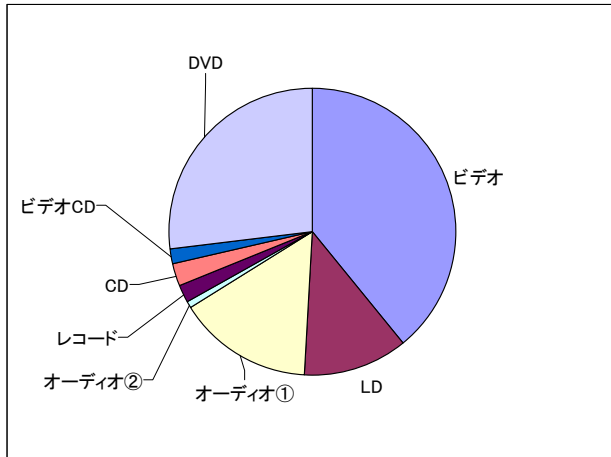
※科目等履修生は学部生に、研究生は院生に含めています。



(単位:冊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
学部生	2,175	2,818	3,473	4,498	1,413	1,199	3,666	3,368	3,725	3,302	1,566	277	31,480
院生	458	401	380	546	166	152	466	272	399	332	242	111	3,925
教職員	582	450	406	416	333	275	449	462	369	383	292	243	4,660
卒業生	108	137	86	130	41	66	127	84	119	112	81	2	1,093
市民	60	90	70	66	64	108	82	121	132	135	138	117	1,183
計	3,383	3,896	4,415	5,656	2,017	1,800	4,790	4,307	4,744	4,264	2,319	750	42,341

視聴覚ライブラリー 資料種別所蔵点数

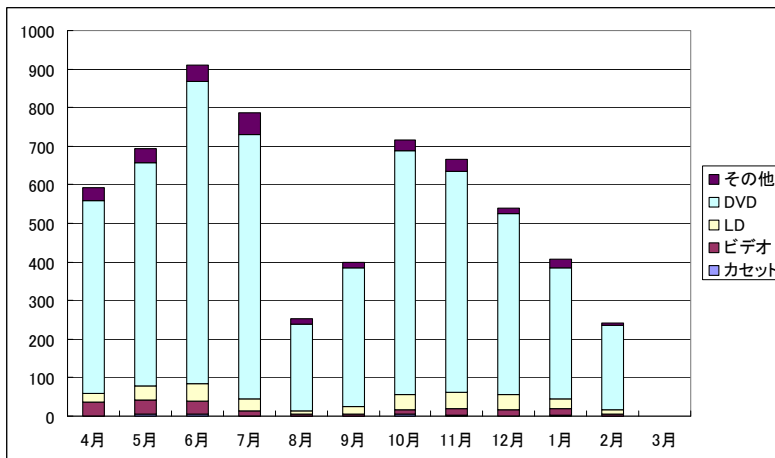


(単位:種)

ビデオ	LD	オーディオ①	オーディオ②	レコード	CD	ビデオCD	DVD	総計
2,506	733	984	53	129	146	118	1,717	6,386

①…カセット ②…オープンリール

視聴覚ライブラリー 月別利用者数



(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
カセット	0	5	6	1	1	0	5	3	0	4	1	0	26
ビデオ	36	38	34	12	4	5	11	17	18	16	6	0	197
LD	22	37	45	32	9	20	41	42	37	26	9	0	320
DVD	501	576	782	685	226	361	630	572	469	339	221	0	5,362
その他	33	39	42	57	14	13	28	31	16	22	4	0	299
計	592	695	909	787	254	399	715	665	540	407	241	0	6,204

※3月は、図書館への移設のため臨時閉室。

2008年

- 11月5-6日 大学図書館近畿イニシアティブ（大阪市立大学）1名派遣
12日 新図書館構想ワーキング「新しい時代の図書館研究会」（神戸芸術工科大学）1名派遣
19日 兵庫県大学図書館協議会講演会（神戸大学）1名派遣
28日 学術情報センターだより第29号（=本誌前号）発行
- 12月1日-1月30日 ミニ展示「司書のおすすめD(Display)」第2回
テーマ:ロシア語で読む日本文学, 新語・標語で見る現代中国, スペイン語で書く!
- 1日 トライやるウィーク 2名受入
9日 長期貸出の開始(冬期休暇前, 1/14 返却期限)
10日 マイクロリーダー(フィルム・フィッシュ) 入れ替え
19日 2008年度 PULC(公私立大学図書館コンソーシアム)全体会合(早稲田大学) 1名派遣
19日 公立大学図書館協議会・近畿地区幹事会(京都大学) 1名派遣

2009年

- 1月5日 データベース「日経テレコン21」の導入
5日-2月2日 後期試験に伴う開館時間の延長(平日 9:00-21:30)
9日 学術情報ネットワーク「SINET3」利用説明会(大阪大学・中之島センター) 1名派遣
28日 日経テレコン21スクール 基本コース・応用コース(大阪) 1名派遣
- 2月2日 データベース「Gale Virtual Reference Library」の導入
2日-3月24日 ミニ展示「司書のおすすめD(Display)」第3回
テーマ:ロシア料理の世界, 新語・標語で見る現代中国(継続), ゲバラを読む
- 4日 長期貸出の開始(春期休暇前, 4/14 返却期限)
6日 日経テレコン21スクール 基本コース・応用コース(大阪) 1名派遣
17日 日経テレコン21スクール 基本コース・応用コース(大阪) 1名派遣
17日 平成20年度兵庫県大学図書館協議会研究会「テーマ:教員組織との連携による
新たな教育・学習支援活動の在り方について」(神戸大学) 1名派遣
- 24日 公立大学図書館協議会・近畿地区協議会(京都府立大学) 1名派遣
20日 私立大学図書館協会西地区部会・第2回阪神地区研究会(神戸) 1名派遣
26日 日経テレコン21スクール 基本コース・応用コース(大阪) 1名派遣
- 3月17日 日経テレコン21スクール 基本コース・応用コース(大阪) 1名派遣
25日 日経テレコン21スクール 基本コース・応用コース(大阪) 1名派遣
26日 ユニティ交流会
- 4月4日 土曜日の開館時間を1時間延長(10-17時を10-18時に延長)
7日 増築部の利用開始、閲覧席を増設(約120席増えて290席に)
7日 視聴覚ブースの利用開始(ブースの席数を、14から18に増設)
7日 書庫出納受付停止時間の廃止
16日 ゼミ図書館ガイダンス(図書館内)
16日 第5回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会(関西学院大学) 1名派遣

- 4月17日 ゼミ図書館ガイダンス（図書館内）
24日 ゼミ図書館ガイダンス（図書館内）
22日-9月25日 ロビー資料展示「黒人系雑誌で報じられた公民権運動 キング牧師の足跡」
- 5月1日 ゼミ図書館ガイダンス（図書館内）
1日 電子ジャーナル「JSTOR」の導入
18-23日 臨時休館（新型インフルエンザの感染拡大を抑制するため、休講と
学内立入禁止の措置をとったことに伴い休館）

♪編集後記

商品情報の後に、キーワードを入力して「検索」をクリックする映像が流れるTVコマーシャルをよく見かけますが、こうした直線的な関係性の極端な例はともかく、螺旋階段を行きつ戻りつするような、一見無駄とも思える、道草の多い文献探しのプロセスのなかから、自分でモノを考えるための自分なりの工夫が生まれてくるのかもしれない。

ネット上のヴァーチャルデータを利用することなしには学習や研究は成り立ちにくいところまで来ているにしても、対象が何であれ、現物でしか感得できない存在感は今回の展示資料からも少なからず伝わってくるのではないのでしょうか。

始めたばかりのゼミ対象図書館ガイダンスに、予期していた以上のお申し込みをいただいています。

センターの専門職員が、デジタル世界とアナログ世界を往還しながら、「コピー」偏重から脱した自前の「知的生産」に、利用者の皆さんの学習や研究のお役に立てばと願っています。

編集責任者：学術情報センターグループ長
牛原秀治

AD ALTIORA SEMPER No.30 神戸市外国語大学学術情報センターだより

「AD ALTIORA SEMPER」とはラテン語で「常により高きを求めて」という意味です

編集・発行：神戸市外国語大学学術情報センター

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1

TEL: 078-794-8151 / FAX: 078-797-2257

E-MAIL: info@lib.kobe-cufs.ac.jp

URL: <http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/>

2009年6月30日発行

発行責任者：センター長 益岡隆志